

令和8年度 ERCA熱中症対策業務

Environmental Restoration and Conservation Agency

環境省唯一の政策実施型の独立行政法人として、①熱中症対策、②30by30(※)実現に向けた自然共生サイトに係る活動計画の審査、③環境政策に貢献する研究・技術開発等の推進、④民間団体が行う環境保全活動の支援、⑤公害健康被害の補償・予防、石綿健康被害の救済などを実施

設立 平成16年4月1日
本部 神奈川県川崎市
組織 9部1室 169人
予算 618億円(支出)

気候変動適応策

熱中症対策の推進 (R6年度～)

気候変動適応法改正に伴い、R6年度から熱中症対策業務が追加
熱中症警戒アラート等に係る情報の整理・分析や地域の熱中症対策の取組支援

自然共生

生物多様性の増進 (R7年度～)

生物多様性の維持・回復・創出に資する活動計画の認定審査
全国各地の生物多様性増進活動の質の向上・継続を支援



科学技術・イノベーション

環境研究総合推進費業務



5領域177課題の公募による研究開発を推進(約50億円)

(参考) 1-2307 「極端高温等が暑熱健康に及ぼす影響と適応策に関する研究」

SIP (戦略的イノベーション創造プログラム)

第3期SIP課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」(R5～9、年間約15億円)

人への投資

NPOの環境活動を支援

R6 164件
活動基盤の強化、多様な主体との連携・協働等の促進

高校生の環境活動を表彰

R6 147件応募
若手の人材育成の強化

人の命と環境を守る取組

公害健康被害補償・予防

(S63までに認定された)
ぜん息等認定患者約2.7万人に補償給付
太平洋ベルト地域のぜん息等の健康回復事業(約10万人参加)

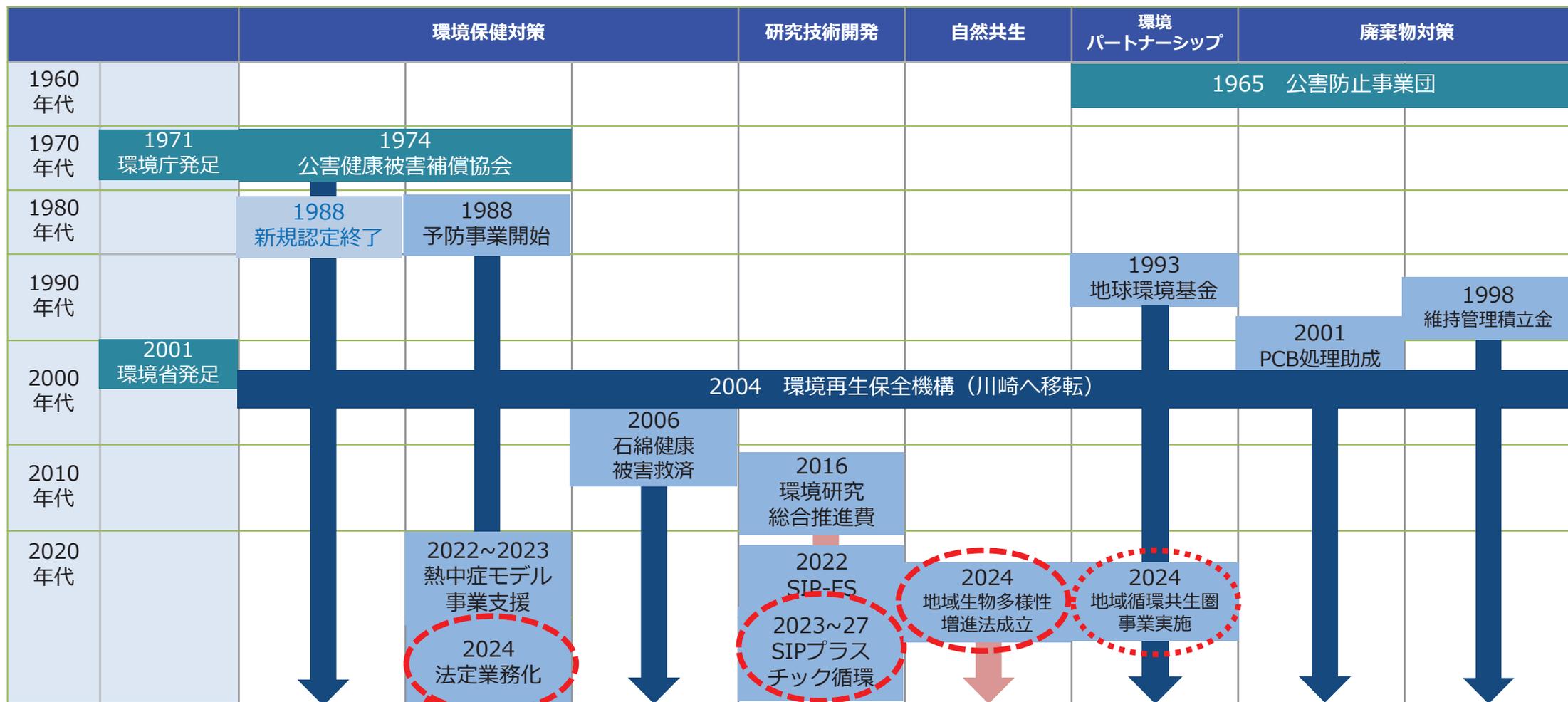
石綿健康被害者救済

年約1,100人救済
(累計約1.9万人)



環境再生保全機構(ERCA)のあゆみ

- 2023年度にSIP（プラスチック循環）開始、2024年度に熱中症対策が法定業務化。
- 2024年4月、地域生物多様性増進法成立、熱中症対策業務開始。
- 2025年春に生物多様性増進業務開始。



2024.4 熱中症対策部（8人）設置
医師、救急救命士（非常勤）確保

2024年4月法制化
2025年度施行

環境再生保全機構(ERCA)の紹介

気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律に基づき、令和6年4月1日から熱中症警戒アラート等の発表の前提となる情報の整理・分析等や、地域における熱中症対策推進に関する情報の提供等がERCAの業務に新たに追加されました。



1 熱中症警戒アラート等の発表の前提となる情報の整理・分析

暑さ指数(熱中症警戒情報の運用期間外を含む。)及びその他の情報と、それらの健康影響の関係等の情報収集を実施。

今後の専門家による議論や、環境省による熱中症特別警戒情報の発表等に活用される予定。



2 熱中症対策地域モデル事業

熱中症対策に関する優良事例を創出する他、各地での取組事例の収集や共有等により、地方公共団体等による熱中症対策を支援。



3 熱中症対策研修

全国の熱中症関係部局を対象に、取組事例を全国に水平展開するための研修を実施します。

地域対面研修、オンライン研修やe-learningを展開し、熱中症死亡者数の半減を目指す。

九州・沖縄における昨夏の状況



熱中症警戒アラート
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン
を使おう!



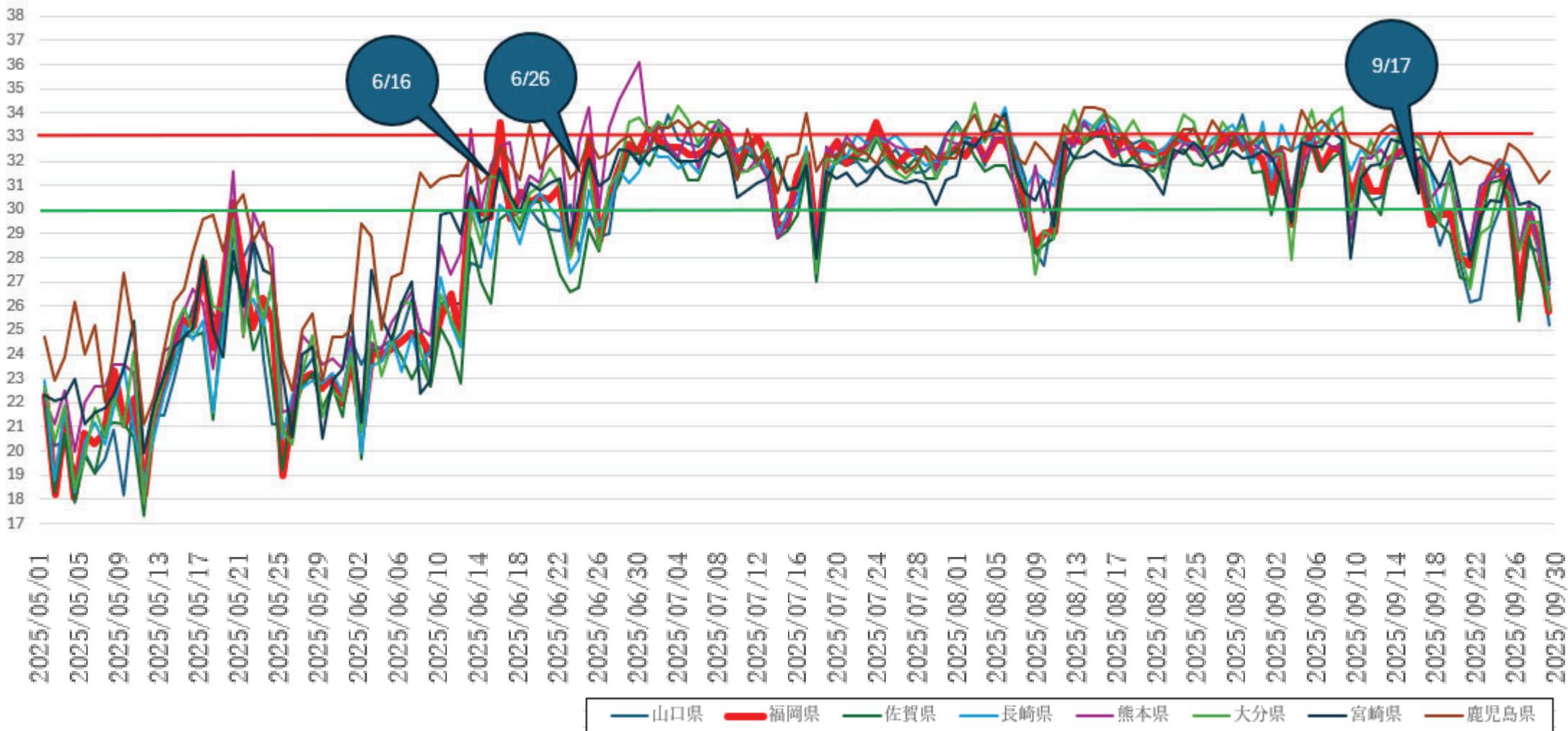
こまめに水分・塩分
を補給!

(参考) 熱中症警戒情報・熱中症特別警戒情報

	熱中症警戒情報	熱中症特別警戒情報
一般名称	熱中症警戒アラート	熱中症特別警戒アラート
位置づけ	<p>気温が著しく高くなることにより 熱中症による<u>人の健康に係る被害が生ずるおそれがある</u>場合</p> <p>熱生ず</p> <p>＜これまでの発表回数＞ R3: 613回 R4: 889回 R5: 1,232回 R6: 1,722回 R7: 1,749回</p>	<p>気温が特に著しく高くなることにより 熱中症による<u>人の健康に係る重大な被害が生ずるおそれがある</u>場合</p> <p>＜過去に例のない広域的な危険な暑さを想定＞</p>
発表基準	<p>府県予報区等内のいずれかの暑さ指数情報提供地点における、日最高暑さ指数(WBGT)が33(予測値、小数点以下四捨五入)に達すると予測される場合</p>	<p>都道府県内において全ての暑さ指数情報提供地点における翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値、小数点以下四捨五入)に達すると予測される場合</p> <p>※自然的社会的状況についても可能な限り情報収集</p>
発表時間	前日午後5時頃 及び当日午前5時頃	前日午後2時頃 (前日午前10時頃の予測値で判断)
表示色	紫 (現行は 赤)	黒

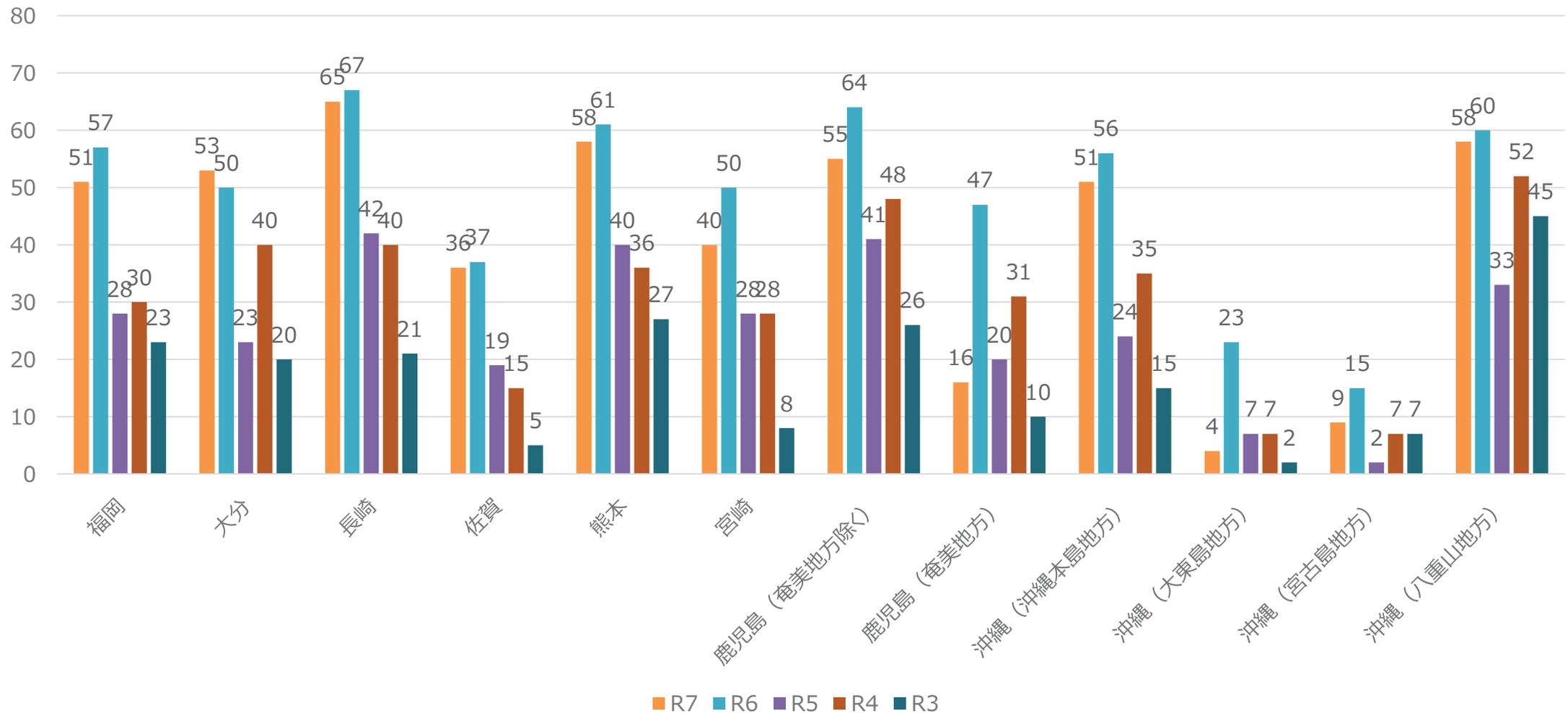
● 昨夏の九州の暑さについて（日最高WBGT）

鹿児島県は、暑くなり始めが早く暑さが長引いている。福岡県は、6/16にWBGT33を記録。6月下旬から9月中旬までほぼ3か月間WBGT30超



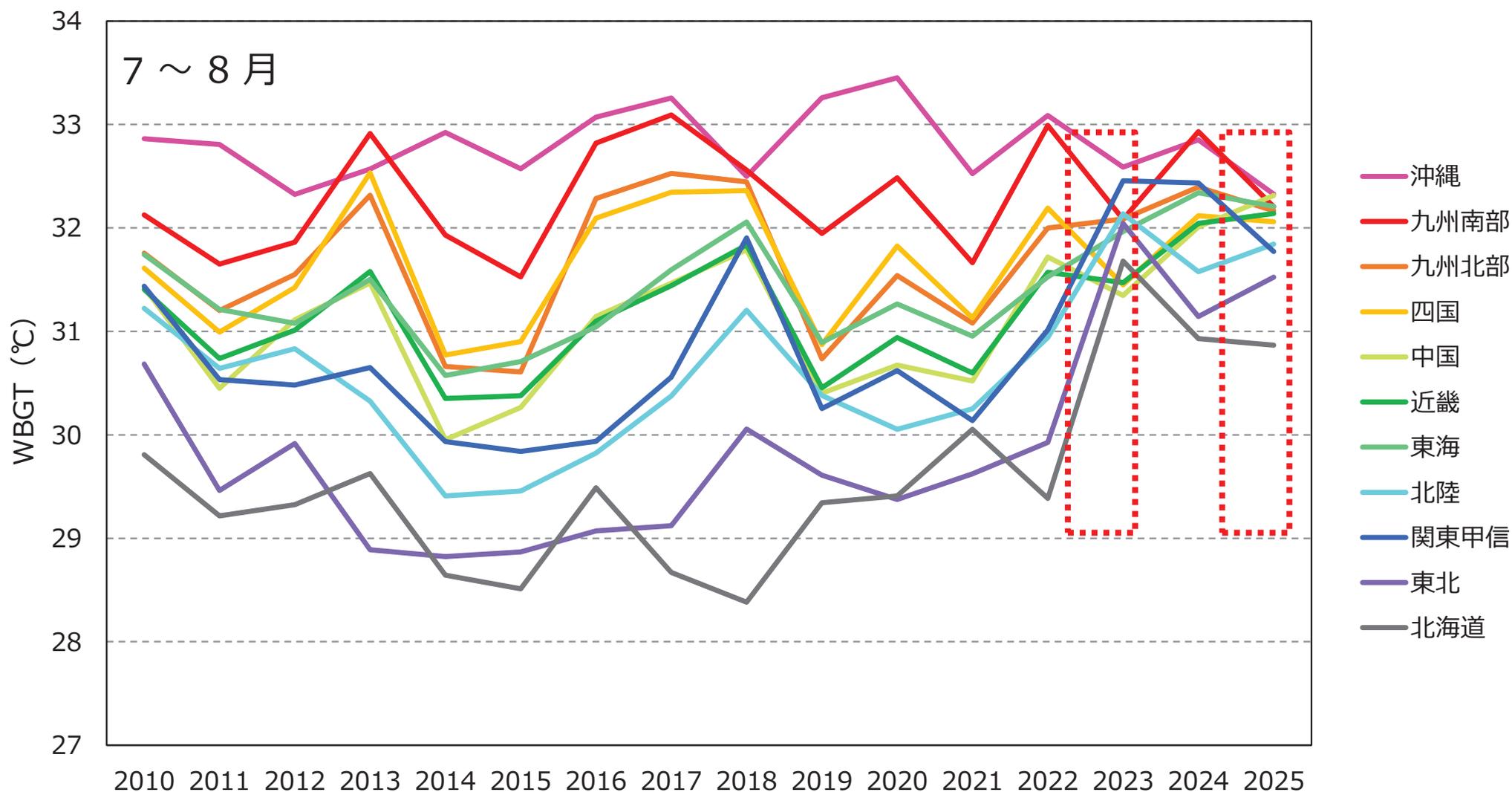
●九州の熱中症警戒アラートの推移

発表回数は2021年から増加し続け、2025年は全国で1,749回（令2024年：1722回）となった。九州では、2024年に次ぐ発表回数。



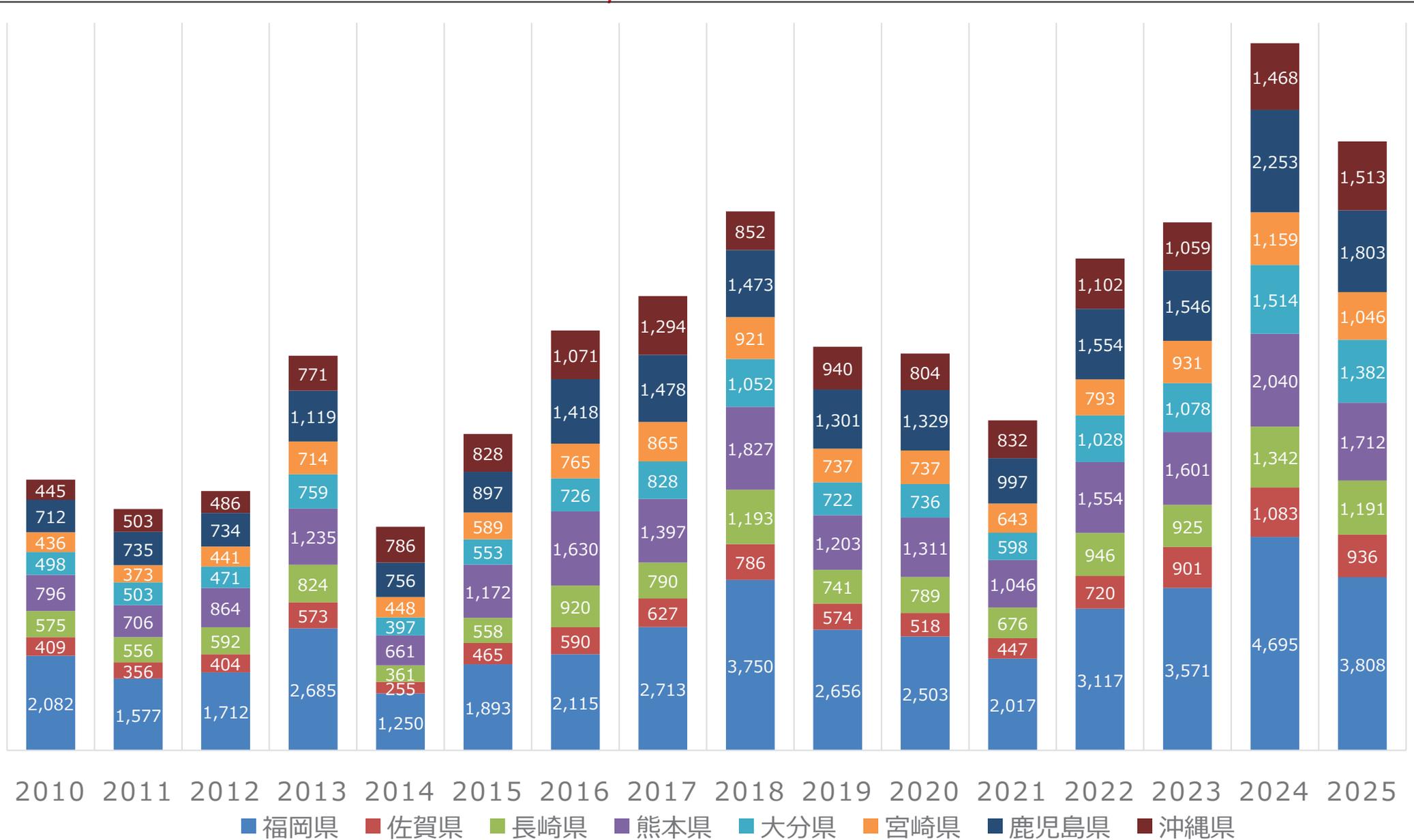
● 地域別日最高暑さ指数（WBGT）の推移

2023年に地域差が小さくなり、2024年に少し大きくなったが、2025年はふたたび地域による値の違いが小さくなっている。



●九州・沖縄の熱中症救急搬送者数の推移

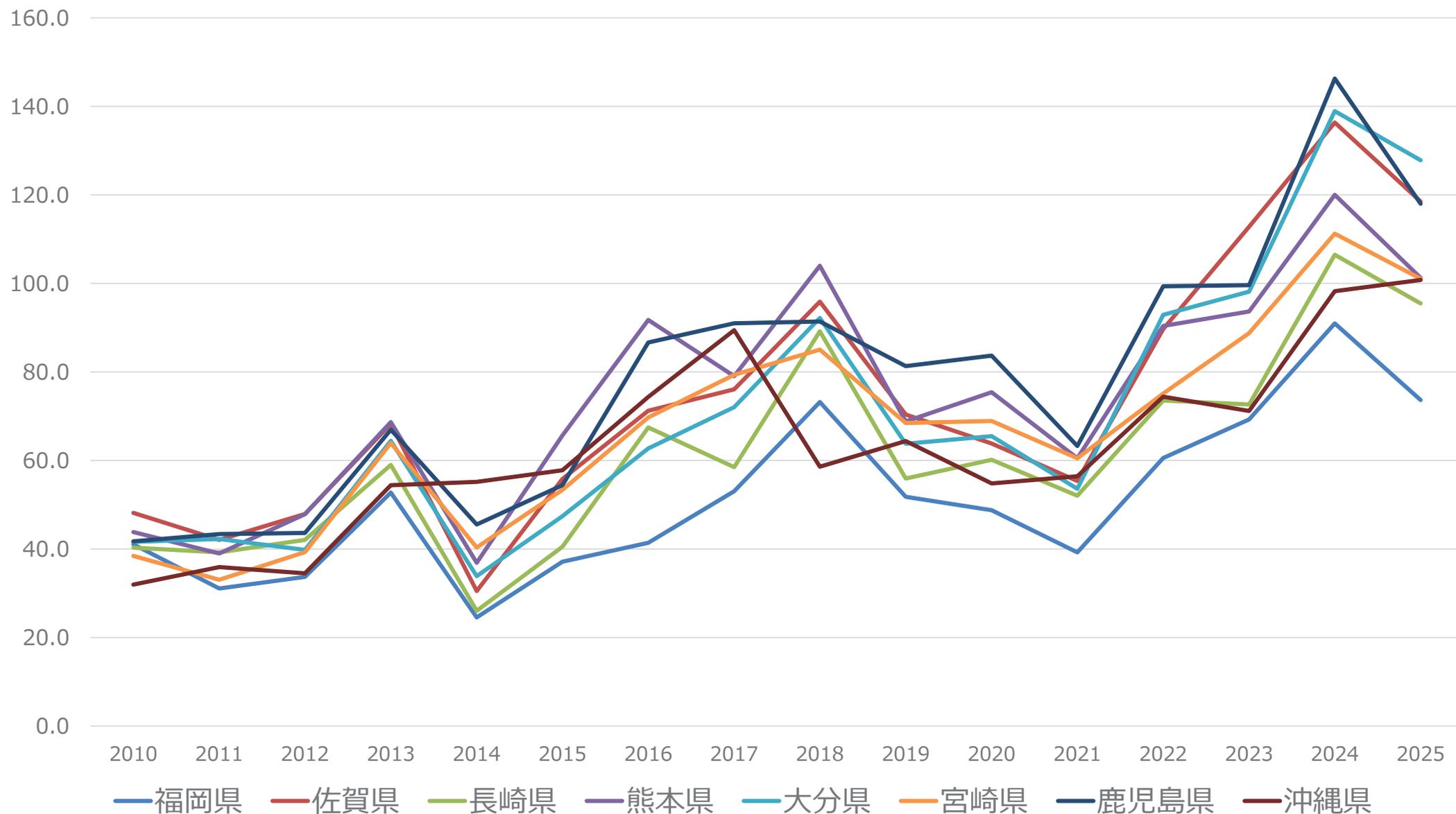
九州・沖縄の熱中症救急搬送者数は、2024年に過去最高の15,554人となった。
2025年は2018年を抜いて2番目に多い13,391人となった。



総務省消防庁のデータを基にERCAで作成したもの

●九州・沖縄の熱中症救急搬送者数の推移(10万人当たり)

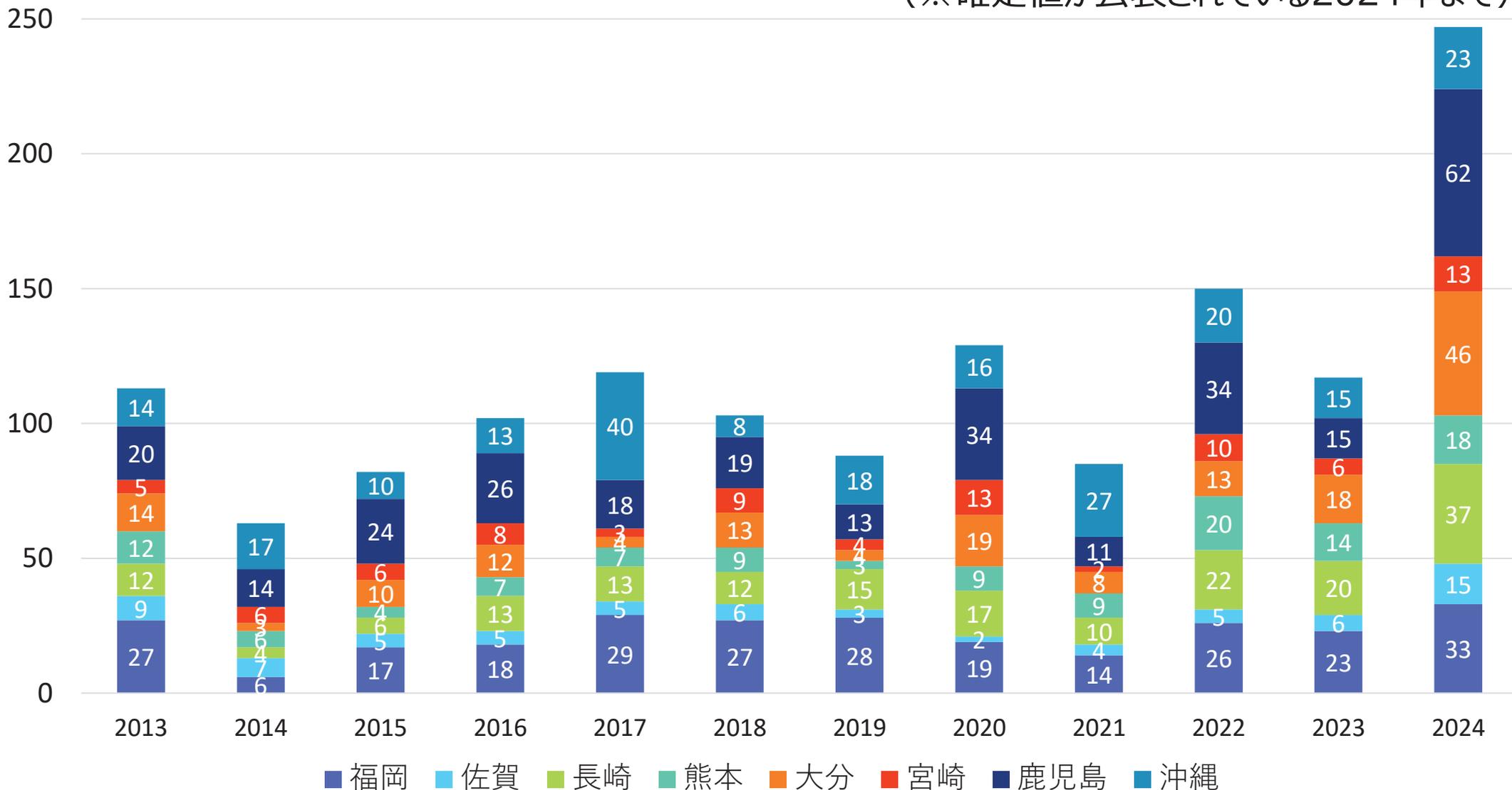
大分県、鹿児島県、佐賀県が多く、次いで熊本県、宮崎県、沖縄県、長崎県と続く。



●九州・沖縄の熱中症死亡者数の推移

熱中症死亡は2024年が最多で247人であった。鹿児島県と大分県での死亡が増加している。8月の暑さが厳しくなかった2014、2021年は全体として少なかった。

(※確定値が公表されている2024年まで)



令和8年度 ERCA熱中症対策業務

ERCAからの情報共有(5点)

1. **令和8年度熱中症モデル事業 公募終了のお知らせ**
2. **令和7年度 高齢者の熱中症予防のための研修(大阪会場)**
3. **令和7年度 高齢者の熱中症予防のための研修(東京会場)**
4. **令和8年度 地域対面研修開催地 【続報】**
5. **令和8年度 地域対面研修内容(仮)**

赤字・・・新規共有事項を含むトピック

1. 令和8年度熱中症モデル事業 公募終了のお知らせ

<スケジュール>

令和8年2月10日(火) 募集締切(午後5時00分まで)

2月25日(水) 評価委員会

3月上旬 採択(予定)

3月中旬～下旬 審査結果の通知(予定)
内定自治体向け説明会・ヒアリングの開催(予定)

4月～ 事業の開始(予定)

2. 令和7年度 高齢者の熱中症予防のための研修(大阪会場)

＜大阪会場＞ 後援：大阪府

開催日時	令和8年2月27日(金)14:00～16:30(予定) 【終了】
受講対象者	大阪府、大阪府内の市区町村 自治体職員
時間	プログラム(予定)
14:00	開会(ERCA)
14:05	講義1：高齢者における熱中症発生メカニズムとその対策について (約30分) 講師：犬飼 公一氏(堺市立病院機構 堺市立総合医療センター救命救急科 副医長)
14:35	講義2：①大阪市内の熱中症死亡者に関する報告 (①～③計：約40分) ②大阪府地域保健課の熱中症対策の取組について ③暑さ対策の情報発信と普及啓発について 講師：大阪府健康医療部(監察医事務所・地域保健課) 大阪府立環境農林水産総合研究所 おおさか気候変動適応センター
15:15	質疑応答(講義1 及び 講義2)
15:30	情報共有タイム (約60分)
16:30	閉会

3. 令和7年度 高齢者の熱中症予防のための研修(東京会場)

〈東京会場〉 後援：東京都大田区

副題:「春から始める！高齢者の熱中症対策セミナー」～暑さに負けない夏の準備～

開催日時	令和8年3月10日(火) 14:00～15:40
場所	大田区大森西地域力推進センター 2F出張所大会議室 (東京都大田区大森西2-16-2)
受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 大田区職員 ● 東京都・東京都内の区市町村における職員 ● 大田区内の自治会・町会 ● その他大田区民 ● 民生委員 ● 社会福祉協議会職員 ● 地域包括支援センター職員 ● ケアマネージャー、ヘルパー等、高齢者に関連する職務従事者 ● 福祉関係の民間企業 ● 熱中症対策に関連する民間企業
開催方法	<p>会場及びオンラインのハイブリッド形式で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 会場参加：定員50名(先着順) ➤ オンライン参加：定員500名(先着順)
	<p>お申込み：下記URL(ERCA熱中症対策部ホームページ)より</p> <p>https://www.erca.go.jp/heatstroke/event/seminar-tokyo/index.html</p> <p>※高齢者の参加も見込まれることからFAX・電話による申込受付も実施</p>

3. 令和7年度 高齢者の熱中症予防のための研修(東京会場)

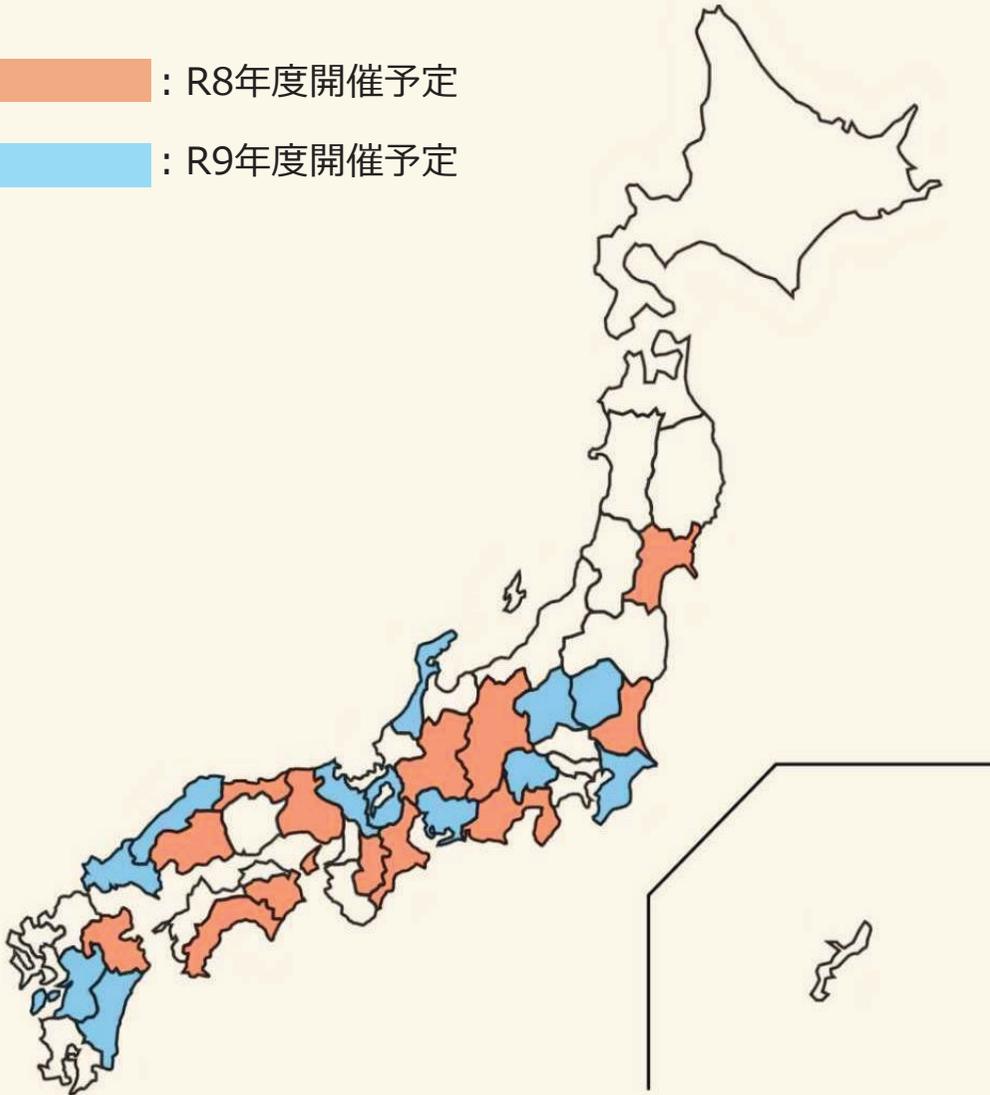
時間	プログラム(予定)
14:00	開会(ERCA)
14:05	はじめに(ERCA) (約5分)
14:10	講義：熱中症の発生状況と夏でも元気な身体づくり(約30分) 講師：石丸 泰氏(一般社団法人環境情報科学センター 事務局長/技術士(環境部門)/理学療法士) 内容：東京都における熱中症救急搬送状況、熱中症リスクと予防のための身体づくりについて
14:40	休憩 (約10分)
14:50	実習：「いつもと違う」はからだのSOS！～熱中症の初期対応実習～(約40分) 講師：鈴木 健介氏 (日本体育大学大学院保健医療学研究科 救急災害医療学専攻 教授・救急救命士/博士(医学)) 内容：高齢者の熱中症搬送事例をもとに、患者発見から119番通報までの流れを救急救命士が解説。実践形式で初期対応を学びます。
15:30	事務連絡等
15:40	閉会

4. 令和8年度 地域対面研修開催地【続報】

※現在各県と調整中

■ : R8年度開催予定

■ : R9年度開催予定



<東北> 宮城県

<関東> 茨城県、静岡県

<中部> 長野県、岐阜県、三重県

<近畿> 兵庫県、奈良県

<中国四国> 鳥取県、広島県、徳島県、高知県

<九州> **大分県**

4. 令和8年度 地域対面研修開催地【続報】 ※現在各県と調整中

エリア	現在調整中の県	地域対面研修(ERCA主催)開催予定日	その他関連するイベント情報
東北	宮城県(健康推進課)	5月29日(金)	
関東	茨城県(環境政策課)	4月24日(金)	
	静岡県(健康増進課/環境政策課)	6月26日(金) ※静岡市には開催について共有済	
中部	長野県(健康福祉政策課)	7月17日(金) ※松本市での開催希望有	5月13日(水) 中部地方環境事務所による研修
	岐阜県(保健医療課)	6月19日(金)	
	三重県(地球温暖化対策課)	5月1日(金) ※例年、三重県では熱中症警戒アラート開始日付近で研修を開催しているためコラボする形で実施	
近畿	兵庫県(健康増進課/環境政策課)	6月4日(木)	
	奈良県(健康推進課)	6月5日(金)	
中国 四国	鳥取県(健康政策課)	5月13日(水)	
	広島県(環境政策課)	4月28日(火)	6月9日(火) or 6月10日(水) 「ひろしま気候変動適応セミナー」
	徳島県(健康寿命推進課)	5月22日(金)	4月22日(水) 徳島県熱中症対策健康会議【大塚製薬株】
	高知県(環境計画推進課)	5月21日(木)	
九州	大分県(環境政策課)	7月3日(金) ※健康政策・感染症対策課→環境政策課との調整に変更	5月18日(月) 大分県熱中症対策健康会議【大塚製薬株】

5. 令和8年度 地域対面研修内容(仮)

※現在各県と調整中

AM : 10:00頃~12:00頃

ハンズオン研修(実習)

定員:30名(現地参加のみ)

対象:自治体職員 + 熱中症要配慮者に関わる方

PM : 13:30頃~16:30頃

地域対面研修(座学)

定員:50名(現地参加)/最大900名(オンライン参加)

対象:自治体職員のみ

5. 令和8年度 地域対面研修内容(仮)

※現在各県と調整中

時間	プログラム	内容	登壇者
10:00 ～ 12:00	ハンズオン研修	会場(現地)参加者同士が協力し、熱中症患者の発見から救急車の到着までにおける冷却方法を中心とした実習	専門医 救急救命士
昼休憩			
13:30 ～ 16:30	開会		
	講義① 熱中症の危険な思い込みと対策のアップデート	熱中症の発生機序、ハイリスク層、後遺症や予防方法など	専門医
	講義② 熱中症対応事例解説	熱中症対処方法、冷却物品がない場合の対処など	救急救命士
	講義③ 開催県における熱中症発生状況	暑さの推移、アラート回数、救急搬送者数、死亡者数などを統計的な観点から説明	専門家
	休憩		
	講義④ 法令・制度の説明、事例の紹介	気候変動適応法の概要、熱中症対策の先進的な取組事例、熱中症対策の進め方を説明	ERCA
	意見交換会	4～5名のグループに分かれ、それぞれの自治体の熱中症対策における「他自治体事例とのギャップの確認」「課題の洗い出し」「互いに助言」「総括」を通して熱中症対策の推進を図る	ERCA
閉会			

ご清聴ありがとうございました



熱中症警戒アラート
をチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコン
をしよう!



こまめに水分・塩分
を補給!